蔵王嶽
広報
かじき
題字　東町長
№370
昭和60年8月号
発行　加治木町
編集　総務課

金魚

夏らしい涼を呼ぶ「キンギョー、エー、キンギョー」の昔なつかしい声、近ごろはあまり聞かれなくなりました。

金魚の祖先は、フナが突然変異したものといわれ、千年以上前から中国で飼育されていたとされています。

日本で親しまれるようになったのは江戸中期からで、いまでも縁日の金魚すくいなどで広く人気を呼んでいます。

ところで金魚になくてはならないのが水。

わたしたちは水を粗末に考えがちですが、水は限りある貴重な資源なのです。

暑い夏、もっと〝水と暮らし〟に目を向け、水を大切に使う工夫をしたいものです。

涼を求めて（蒲生田通りで）

地区民の力で基盤整備が完成

辺川上地区

農業構造改善事業

今日、わが国の農業をとりまく環境条件の変化の中で、農業は厳しい試練に直面しています。

加治木町の農家戸数も一千三百九十戸（六十年二月一日現在）と五年前に比べ百七十六戸も減少しています。

こうした状況のもとでは構造政策に重点を置き、規模が大きく生産性の高い農家を育成し、コストを下げ産業として自立し得る農業を確立してゆくことが重要です。

また、農地の流動化を更に加速させることや地域の特産物を取り入れ、農用地を高度に利用した複合経営の育成を図っていくことが必要です。

「新農業構造改善事業」後期対策は、これらの目的達成のため、土地基盤整備などを推進し、担い手農家の育成、経営規模拡大を図る事業です。

事業を実施する前の辺川上地区

⇨ 良好な農地に……辺川上地区

新農業構造改善事業

後期対策を推進

辺川上地区（市野々・市野・鶴原自治会）では「集落東側の水田の土地基盤整備と環境の整備に取り組もう」と、先進地研修や地区民総ぐるみの話し合い活動を何回も重ねてきました。

そして、新農業構造改善事業に取り組み、五十八年度には七ヘクタールのほ場整備と鶴原・市野の集落センターが完成。五十九年度は五ヘクタールのほ場整備と鶴原集落内の道路整備を実施し、地区民の力で土地基盤と環境整備が図られました。

これまで農業資材などの運搬を肩先で行っていた水田が、現在では用排水の心配もなく、また他人に気がねなく自分の水田まで車で行けるようになり、地区民に喜ばれています。

町では、今後西別府地区などの山間部に点在している水田の整備を実施し、農家経営の安定を図るため新農業構造改善事業・後期対策事業を推進する計画です。

話し合いの場も整備（市野集落センター）

構造改善事業を実施して

協議会長　外園　貢さん

辺川・市野集落東側の水田地帯は、以前から「道路を新設しよう」との話がありましたが、なかなか話がまとまらず、農業資材の搬入や生産品の搬出は肩先で行われており、各農家とも非常に苦労していました。

五十四年に農村振興運動の拠点集落として指定を受け、この際ほ場整備、主に土地基盤と環境の整備をしよう、ということになり話し合いを重ねました。

ほ場整備については、減歩（道路・水路などを共同で負担し減少した面積の割合）も十パーセント程度で済み、良好な水田によみがえり、また地区内の通行の安全性と環境の整備が図れました。

今後は、整備された水田をいかに有効的に使うか、具体的には表作だけでなく裏作までも何を作付けするか、そしてより多くの農業所得を上げるか、という営農体系の確立が必要であり、また老齢化・婦女子化の進む中で、十年後、二十年後は耕作する人は少数となるであろう辺川地区で、だれが担い手農家となり農用地の貸借を行いながら農地を守ってゆくのか、いわゆる担い手農家の育成が問題であろうと思います。

本町でも県営ほ場整備が上場を主に計画されているようですが、良い機会だと思います。

幸い本町の地元負担は事業費の約一割強であり、長い目で農業をとらえる必要があると思います。

委員長として残された問題について今後もいっしょうけんめい取り組みたいと思います。

外園　貢さん

60年度以降の事業計画

▶集団農区総合整備事業（水田区画整理事業）

工　区	地　区	受益戸数	面　積
須ノ元工区	菖　蒲　谷	１８戸	4.4６ha
楠木坂工区	菖　蒲　谷	１０戸	3.0３ha
鳥取工区	永　　原	２４戸	5.8２ha
板木工区	桑　　迫	１４戸	2.8８ha
南　工区	永　　原	１５戸	3.3８ha
大丸工区	桑　　迫	１２戸	3.5７ha
簿ヶ迫工区	桑　　迫	８戸	2.1１ha

米寿を迎えふるさとで親子展

町出身の吉井英二さん

町出身の日本画家・吉井英二さん（千葉県松戸市在住）と、息子の春堂さん（東京都在住）、東人さん（松戸市在住）による「親子三人展」が、六月二十七日から七月二日まで鹿児島市で開催され、連日おおぜいの美術愛好家や知人が訪れにぎわいました。

これは、英二さんが米寿を迎えられるのを記念して、二人の息子さんが「個展を開くなら、ぜひふるさとの鹿児島で…」と企画され実現したものです。

会場には、英二さんが大正十三年、初めて帝展に入選した作品「少女像」や町郷土館に保管してある「遊鯉」（三十五歳ごろの作品）などの作品と、春堂さん、東人さんの作品合わせて四十点あまりが展示されました。

加治木まんじゅうの絵といとこの吉井淳一さん

町長や友人と歓談する吉井英二さん（中央）

英二さんの作品の中には、加治木中学校時代（十三歳ごろ）に描いた「加治木まんじゅう」の絵もありましたが、これは中学時代からの友人・和田寛さんが七十五年間も大切に保存されていました。

英二さんも「こんな作品が残っていましたか」と感激し、和田さん宅を訪れ旧交を温めました。

また、英二さんは六月二十九日加治木を訪れ、東町長や友人などと昔話に花を咲かせました。

吉井英二さんは、明治三十一年本町に生まれ、加治木中学校を卒業後　大正五年画家を志して上京し山内多門画伯に師事しました。大正十三年には、帝展に初入選するなど第一線の日本画家として活躍されています。

全九州少年軟式野球大会に出場

錦江野球スポーツ少年団

錦江野球スポーツ少年団（増田孝キャプテン、部員三十一人）が、八月三日と四日枕崎市で行われた全九州少年軟式野球交流大会に、県代表チームとして出場しました。

これは、加世田市で七月二十八日開催された県スポーツ少年団競技別交歓大会「軟式野球競技会」に姶良伊佐地区代表として出場。鹿屋ベアーズを一対〇と破った後、昨年の優勝チームこぐま（末吉町）とも二対二で引き分けるなど強豪を向こうにまわして堂々の試合を展開し、その善戦ぶりが認められ県の代表チームに選抜されたものです。

錦江スポーツ少年団ナイン

お母さんしっかり

お茶の水女子大学教授
附属幼稚園園長
外山　滋比古

母親のおしゃべりは赤ちゃんの“教材”

女の人はよくしゃべります。もちろん、そうでない女性もいますけれども、おしなべて、おしゃべりです。わが国だけではなく、外国でも同じようです。

こういうと、まあ、ひどい、女をばかにして、とリュウビをさか立てる方がいらっしゃるかもしれませんが、そう早まらないで、お聞きください。

なぜだろうか、ということを、男はいうまでもなく、女の人も考えたことがありません。たいてい、ちゃんとしたわけがあるものです。

女性であれば、やがて、母親になります。母親は、赤ちゃんのことばの先生です。赤ちゃんに文字でことばを教えることはできません。すべてを口で言う必要があります。

しかも、一度や二度ではわかりませんから、繰り返し、繰り返し聞かせます。そういう先生が、もし、口が重く、ろくにものを言わない、としたらどうでしょう。

いくら赤ちゃんがことばを覚えようとしても〝教材〟が不足してはどうすることもできません。ことばの習得がおくれてしまいます。ことばはもの心をつけるモトです。ことばがおくれれば、知能の発育にもひびきかねません。

そんなことになってはたいへんです。そこで神様が、あらかじめ女性をおしゃべりになさったのです。そう考えると、筋道がつきます。だてにおしゃべりなのではありません。

ゴシップという英語があります。語源は、洗礼のときに母代わりをする人のことです。

それが、おしゃべりの女友だちを経て、いまの〝うわさ話〟の意味になりました。

それはとにかく、おしゃべりは女性の誇るべき特性です。

われわれはそれに感謝しなくてはなりません。あざわらったり、赤ちゃんには使わずにほかへ流用したりしては、それこそバチが当たります。

いきいきと生きよう

社会教育教養講座

ふるさとを守り育てる生涯学習の拡充を推進している町教育委員会では、町老人クラブ連合会との共催で社会教育夏期教養講座を七月十六日、福祉センターで開催しました。

これは、社会教育学級生に専門的な知識だけでなく、幅広い学習をしてもらおうと教育委員会が年二回講演会を開催しているもので、この日は、社会教育学級生や老人クラブ会員など約三百人が参加し熱心に聞き入っていました。

講師の近藤重和先生（森と湖の里所長）は「活きて老いる」と題して、現代の世相などを例に引きながら「老いて生きるかと、活きて老いるかは大変な違いです。人間ほどの高等動物で、一番下等な形で生まれてくるものはありません。概念とか判断というものはもっとも発達が遅く、三歳までにその基礎をつくってゆくしつけが必要です。しつけは、仕付け、しつづけであり、してはいけない事を教えることです。日本ではこの一番大切なことをやっていません。国家は家庭から始まります。そしてその家庭の心張は高齢者です。年寄りがしっかりしなければ日本はダメになります。

活きいきと胸を張って生きましょう」と講演しました。

人形劇に見入る

近藤先生の講演

『泣いた赤鬼』などを熱演

ママさん人形劇団『ピノキオ』

町立図書館主催の「お話しの時間」を利用して、ママさん人形劇団〝ピノキオ〟が「泣いた赤鬼」と「ピョンピョンパンのカバン」の人形劇を公演し、集まった幼児や小学生、お母さんがた百三十七人から盛んな拍手を受けました。

人形劇団〝ピノキオ〟は、お母さんがたが結成されたグループで人形もすべて手づくり。グループの悩みはご主人の転勤などで会員が減少していることで、この日も汗だくになりながら一人で数体の人形を操作していました。

代表の神崎さんは「興味のある人はぜひ六三―〇三八八まで連絡してください」と話されました。

汗だくで人形をあやつる団員

青少年の豊かな心を育てよう ㉚

青少年教育

鹿児島・加治木の流れ（その11）

『学舎教育と小学校分校の設置』

明治十年の西南の役を前後して青少年教育の変遷の中、小学校・郷校がひけた後、郷中教育の流れをくむ青少年は、明治四年の廃仏毀釈運動の廃寺や古家を利用して、集会を中心とした教育を行っていたことが下加治屋の「二松学舎記」中に見え、同学舎の前身であると記されています。

それに夜学校（夜学舎）や、明治七年には西郷隆盛を中心とする私学校が設置されました。

明治九年共立学舎が創立、胎動期の学舎教育に蘇生して青少年の士風が高まるなかで、西南の役が終始しました。

加治木においてもこの時期、青少年は学業を廃していましたが、明治十一年竹下馬場の松永英一宅で授業を開始。塩入の茶倉跡に移し、山林に避難していた生徒も出席するようになりました。

また、仮県庁の移った後に柁城小学校もかえってきました。

各村に分校を設置し、教育の普及がなされ、西別府が明治十一年三月、小山田が五月、日木山が九月に設置されました。

明治十四年分立教授がなされ、菅原小学校は九月に、中福良小学校は明治十五年四月、西別府・小山田もその時分立しました。

また、小鳥小学校も九月に分立しました。日木山は、明治十四年楠原に移され、後に中野に移されました。

明治十五年四月には初等科三か年、中等科三か年、高等科二か年となりました。

一方、学舎教育も鹿児島では明治三十年代までに十三学舎、大正十四年に至っては郷中教育を背景としないものも含めると十六学舎になりました。

八月は、町民税・固定資産税（二期）の納期です

本ガザミ五万尾を放流

錦海漁協

大きくなれよ……

錦海漁協（春山鉄翁組合長）では、本ガザミ（稚ガニ）五万尾を黒川海岸や須崎海岸、姶良町沖などに七月十日放流しました。

これは、錦江湾の漁業資源を豊富にしようと、初めて実施したもので放流した本ガザミは、県栽培漁業センターでふ化したものを、漁協の前にプールを作り六日間中間育成したもので、体長が一㌢程度の稚ガニです。

本ガザミは、水深約一～二㍍の浅い砂地で生育し、脱皮を繰り返し六か月程度で一キロぐらいに成長するおいしいカニです。

うなぎの稚魚10㌔を放流

網掛川内水面漁協

網掛川内水面漁協（吉薗清組合長）では、釣り人に楽しんでもらおうと、今年もうなぎの稚魚十㌔を七月二十二日、小山田保育所前と、辺川の川原田橋の二か所で放流しました。

放流した稚魚は、串良町で採取し育成した体長約二十㌢のもので、放流すると勢いよく泳いでゆきました。

マナーを守って釣りを楽しみましょう。

放流する吉薗組合長

少年賞は船迫祥志君

第13回観光きす釣り大会

観光協会主催の第十三回観光きす釣り大会（錦海漁協共催）が七月七日、隼人町沖から姶良町の重富港小崎鼻の間のポイントで行われ、遠くは志布志や鹿屋から腕自慢の太公望百八十人あまりが参加しました。

参加者は、午前四時半加治木港を出発。好天にめぐまれ検量の始まる午前十時には重そうなクーラーをかかえて帰港しました。

検量の結果、少年賞は九百五十㌘を釣りあげた船迫祥志君が獲得しました。

観光きす釣り大会は「釣りを楽しみながら海をきれいにする心を育てよう」と毎年開かれているもので、年々盛んになっています。

入賞者は、次のかたがたです。

〔きす重量の部〕

優勝…新福秀義（二千四十㌘）

二位…池田宏志（千六百六十㌘）

三位…相良昭三郎（千六百五十㌘）

〔キス大物賞〕

宇部興産（百八十㌘）

〔雑魚大物賞〕

奥哲也（三百六十㌘）　エソ

〔ネズミゴチ重量賞〕

前田涼子（百四十㌘）

〔少年賞〕

船迫祥志（九百五十㌘）

〔女性賞〕

中西エミ子（六百七十㌘）

〔アメ大物賞〕

吉村清視（百五十㌘）

新福さんと少年賞の船迫君

生活学校だより

空き缶はカン太郎へ

〝住み良い地域づくり〟を目指した生活学校運動は、全国いたるところでさまざまな活動が展開されています。

町生活学校でも、日常生活のなかからいろいろな課題を取りあげ、より良い生活環境をつくりだすための歩みをつづけています。例えば、合成洗剤・食品・ゴミ処理・乾電池・空き缶問題など社会的対応で解決しなければならない課題がいっぱいです。

なかでも、ポイポイと捨てられている空き缶を資源として再利用しようと〝捨てるな空き缶、生かせば資源〟と空き缶回収器「カン太郎」の設置に力を入れています。

すでに駅前、町営体育館前、蒲生田通り、バス停などに生活学校運動に賛同する事業主のかたがたのご協力で〝カン太郎〟がたてられていますが、もっとたくさん私たちの周りに増やしたいとがんばっています。

冷たいジュース……飲んだ後空き缶は〝カン太郎〟へ――。

設置されたカン太郎に空き缶を食べさせてください。

カン太郎が食べた空き缶は、定期的に回収され、資源として鉄・アルミ製品の原料となります。ポイポイと捨てた空き缶は何になります？

カン太郎へポイッと入れた空き缶は、新しい製品として生まれ変わります。一人でも多くの人が心がけてください。

カン太郎

優勝は城東地区

地区対抗 一般男子バレーボール大会

地区対抗の一般男子バレーボール大会は七月七日、町営体育館で行われ、九チームが地区民の盛んな声援の中、白熱した試合を展開しました。

決勝戦では、昨年優勝の城北地区と城東地区が対戦。三セットを戦う接戦の末、城東地区が優勝しました。

結果は、次のとおりです。

▽**優勝**…城東地区▽**二位**…城北地区▽**三位**…永原地区▽**四位**…竜門

〔**リーグトーナメント結果**〕

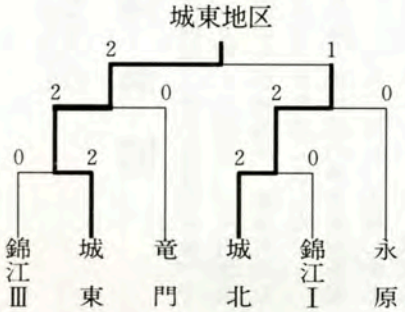
錦江Ⅲ2－0城南、錦江Ⅰ2－0錦江Ⅱ、錦江Ⅲ2－1竜門、城南1－2錦江Ⅰ、竜門2－0錦江Ⅱ、城東2－0城西、城北2－0永原、城西0－2永原

（数字は、セットカウント）

優勝した城東地区

熱戦を展開

〔決勝トーナメント結果〕



22チームが熱戦を展開

町ナイターソフトボール大会

熱帯夜を吹きとばせ、と町ナイターソフトボール大会（ソフトボール協会主催）が、七月八日から十二日間にわたって町営グラウンドで行われ、Aクラス十チーム、Bクラス十二チームが連日熱戦を展開しました。

決勝戦は、七月十九日に行われAクラスでは確実に得点を重ねた竹之内水産が優勝しました。

▽Aクラス決勝

竹之内水産	0	0	2	4	0	4	×	10
球友	0	0	0	0	0	0	0	0

Aクラス優勝　竹之内水産

▽Bクラス決勝

プリンス	1	0	2	3	0	×		6
合庁	0	0	0	1	0	1	1	2

Bクラス優勝　プリンス

竹之内水産が優勝

第一回丸高杯ソフトボール大会

新工場の落成と、立地十五周年を記念して第一回丸高衣料杯ソフトボール大会が、七月七日町営グラウンドで開催され十九チームが熱戦を展開しました。

主催者の米原勝信工場長は「加治木に工場を立地し十五周年を迎え、何か地域のかたがたへお返ししたいと考え、優勝旗を作りました。これから年一回大会を実施してゆきたい」と話されました。

結果は、次のとおりです。

▽**優勝**…竹之内水産
▽**二位**…加治木クリーン
▽**三位**…加治木町役場クラブ

好試合を展開

無料行政相談

行政に不満や不服をお持ちの方や、手続きなどで迷っていらっしゃる方は、ご遠慮なく行政相談委員、または鹿児島行政監察事務所にお申し出ください。

いつでも相談に応じます。

▽**行政相談委員**
新納　正教
住所　仮屋町八四
電話　六三－二〇二七

▽**鹿児島行政監察事務所**
電話　（〇九九二）二四－三二四七

技術より親睦第一

岩原西・バレーボール大会

第二回岩原西自治会バレーボール大会が七月十四日、錦江小学校体育館で開催され、お母さんやお父さん方約五十人が参加しました。

これは、自治会（中元カズ子会長）と山下良子婦人部長らが呼びかけ、婦人部の心のふれ合いの場を作ろうと昨年から実施しているもので、技術向上よりも親睦が第一。ジャンケンでA・B二チームに分かれて試合を楽しみましたが、審判の迫田体育部長も笑い出すような珍プレーも続出し「ほら、キバらんな」という大声援の中、楽しい一日を過ごしました。

また、男性と女性の対抗戦では女性陣が実力（？）を発揮して、二対〇と男性陣を寄せつけず盛んな拍手を受けていました。

ハッスルプレーも……

グラウンド・ゴルフ 普及指導員に認定

竹下虎雄さん

竹下虎雄さん

体育指導員の竹下虎雄さんが、町内では初めて「日本グラウンドゴルフ協会公認の普及指導員」に五月十日認定されました。

グラウンド・ゴルフはゲートボールにゴルフの要素を加えた競技で、ゲートを通過させるかわりにホールに何打数で入れるかを競う楽しいゲームです。

町の体育保健課には道具一式が準備してあり、六月二十四日ゲートボール協会員を集めて実施した講習会でも好評を得ました。

竹下さんは「連絡してくだされば、いつでも指導しますよ」と話されました。電話番号は、六二一二八一〇です。

建設局長表彰を受賞

警精館剣道スポーツ少年団

長年、国道の美化活動を実施している警精館剣道スポーツ少年団（松田仁孝キャプテン・団員二十八人）が七月十二日、建設省九州地方建設局長表彰を受けました。

これは、同少年団が毎年、奉仕活動として国道十号線の空き缶拾いを父母の会（湊俊紀会長）と実施し、道路の美化愛護に取り組んできた功績が認められたものです。

表彰状は七月二十八日、指導に当たっている加治木警察署員を代表し、藤山晃署長から松田キャプテンに伝達されました。

受彰を喜ぶ団員

二十三チームが技競う

町剣道錬成大会

七回目を迎えた町剣道錬成大会が七月二十八日、町営体育館で行われ、二十三チームが参加し日ごろ鍛えた技を競い合いました。

結果は、次のとおりです。

◎団体戦

〔小学生の部〕**優勝**加治木剣道スポーツ少年団A②警精館剣道スポーツ少年団③木田剣道スポーツ少年団・加治木剣道スポーツ少年団B

〔中学生の部〕**優勝**加治木中F②加治木中B③加治木中A・加治木中E

〔高校生の部〕**優勝**加治木工業A②加治木高校A③加治木高校B・加治木高校C

〔職場対抗の部〕**優勝**新富剣友会②加治木警察署③剣心会・火曜会

◎個人戦〔高校生の部〕**優勝**…松下友多、**二位**…瓜生武志〔一般の部〕**優勝**…小川正昭、**二位**…吉元龍一、**三位**…佐々木浩

技がぶつかる

食中毒に気をつけましょう

今年も、暑い、じめじめした夏がやってきました。

この季節は、食中毒菌にとって、最高の季節なのです。

ところで、毎年、家庭内の食中毒事故が案外多いのをご存じですか。

では、どうして食中毒を予防したらよいでしょう。

食品衛生の三原則を守りましょう。

清潔

手洗いの励行・まな板・包丁・ふきんなどの殺菌消毒。

ハエ・ゴキブリ・ねずみなどの駆除。

迅速

なまものは早く調理し、早く食べる。

冷却または加熱

冷蔵庫は常に清潔にし、摂氏五度前後に保って保存する。

調理時の加熱は、充分に行う。

空き缶はクズかごへ…。

ふるさとの味を伝える

郷土料理教室を開講

私たちの祖父母、父母が食べてきた郷土料理を味わい、その時々の行事などを語り伝えようと、郷土料理教室が七月十九日福祉センターで始まりました。

一回目は「さつまおすもじ」と「えばざこの南ばん漬」「ふくれ菓子」などで、開講式の後、さっそく永田フヂさん（柳田）と小川フミ子さん（岩原西）の指導を受けながら、受講生三十人は熱心に料理に取り組んでいました。

講座は二か月に一回で、来年三月まで開かれ十九種の郷土料理を学ぶことになっています。

おいしい郷土料理づくり

自立自興の精神を養う

県「少年の船」参加者の結団式

がんばってきます

規律ある集団生活の中で、異年齢間の相互学習を通じて自立自興の精神を養う県「少年の船」に、本町から湊定美君（加治木中三年）ほか八人が参加。出発に先立って七月二十二日町の結団式が役場会議室で行われました。

結団式で乙須教育長は「親が敷いたレールを走るだけでは自主性は育ちません。中学生が小学生を指導し、良い子に育てる、そういう活動がまだまだ少ない。子供会の中でやって欲しいと思います。元気で楽しく勉強してきてください」と激励しました。

歴史の旅 2

鳥越池

米を大切に…瑞穂の国・日本。忘れかけつつある昨今、木田の北西部、姶良町境にある鳥越池を訪ねてみましょう。

稲作に欠かせない農業用水の供給源として昔の人は、川から用水路によって通水が不可能な田んぼには、谷間に人工の溜池を設け、湧水や山水を集めて池を作りました。鳥越池もその一つです。

秋の落水時には池落しといって尺八（取水口）を全開し、泥砂を流し、春先に放流した鯉や鰻などを「さで」等を使ってとりました。大人も子供も一番楽しみの日でした。

尺八は、大部分がセメントに改修されていますが、鳥越池の尺八は昔のままです。

尺八は、必要に応じて水位を調整、放水するための水抜き穴が尺八のようになっていることをいいます。角筒状で、まっすぐに立てられ、四十四センチ間隔で穴が十か所開けられており、杉の木ぐいで栓をしてあります。

底の地獄栓を抜く時は、ゴオーッという音とともに吸い込まれそうになり、大変恐しい、技術を要する作業の一つです。

石材は、五老峰の陣の石で、長さ四・五メートル、幅は三十五センチメートルです。

九州自動車道開通以前の鳥越池は、広さ約三十アール、受益耕地三ヘクタールでしたが、現在は住宅や道路などにより受益面積も減少しています。

時代の流れでしょうか。

池の北側に水神様がありますが、水難防止を祈る川の水神様と違って、築堤完工の記念と、「いつまでも水が枯れないように」祭ってあるのが溜池の水神様です。

尺八（取水口）

碑には、掛物奉行「美坂延將」、大目「枝元与兵衛」、奉行書役、郡見廻、地力検者、木田村庄屋「杉村源蔵國次」、名主「本村門新助」「大脇門金太郎」「有村門惣左衛門」「六反門八右衛門」など十二人の名が刻まれています。

また、「安政戊五年正月二十九日より同三月十三日終」とあり、百二十六年前に約一か月半で作られており、昼夜わかたぬ突貫工事だったろうと察します。今だに堤防、取水口とも破損はなく、昔の人力、土木工事の技術にただただ敬嘆するのみで、八公二民の苦しみが伝わってくるようです。

（筆者　吉村次男）

水神様

人工呼吸法などを研修

幼児交通安全クラブ・交通安全母の会

幼児交通安全クラブと交通安全母の会では、夏休みを前にした七月十二日交通安全母親指導者研修会を開催し、とっさの時の応急処置法や街頭指導法を研修しました。

集まった約四十人のお母さんがたは、姶良西部消防組合・救急隊員の指導で、口うつし人工呼吸法や心臓マッサージなどを人形を使って実地に研修しました。

また、夏休み中の子供を悲惨な交通事故から守ろうと、加治木警察署・交通課職員の指導で、街頭での交通安全指導法などを熱心に研修していました。

人工呼吸法の実習

夏の青少年を育てる運動

夏は、青少年がみずからを鍛える良い季節です。

七月から八月三十一日まで「明るく・たくましく・すこやかに」をテーマに夏の青少年を育てる運動が行われます。

この時期、青少年が団体・グループ等による自主的活動を活発にすすめることにより、心と体を鍛え、けじめのある生活を送るなど自立自興の精神を養うとともに、地域ぐるみで健全な青少年を育てようとするものです。

〔運動の推進事項〕

★青少年自立自興運動の実践

地域ぐるみの学習を通じて、青少年育成の気風づくりをすすめましょう。

★明るい健全な家庭づくり

計画をたて、規律正しい生活で、よい習慣を身につけましょう。

★生徒指導の充実に努めましょう

校外生活指導連絡会を通じて、地域ぐるみで児童生徒の育成をはかりましょう。

★非行や事故を防止しましょう

万引・乗物盗やシンナー・接着剤等の乱用は犯罪行為です。勇気をもって止めさせましょう。

★健全な社会環境づくり

社会環境を点検し、青少年にとって良くない雑誌や施設等を地域ぐるみで排除しましょう。

あいさつ運動を展開しましょう。

薬草知られざる効き目 ㉓

スイカ

スイカは、熱帯アフリカ原産で朝鮮から琉球を経て薩摩に伝わり寛永四年（一六二七年）初めて植えられた。別に、千利休（一五二二―九一年）がスイカを食べていた、となると、渡来は不詳である。

スイカは、涼を招く夏の食べ物として最高であり、利尿の効ありとして最も親しまれている。

果肉はそのままで利尿に良く、皮や種子の煎服もよろしい。

中国料理では、種子を「瓜子（こしゃ）」といって、お茶うけや箸休めに食べる。

あせもには、果汁をつけるか、食べたあとをこすりつける。

口内炎には皮を乾かして煎服するか、黒焼きをつけるとよい。

昔から珍重された西瓜糖のつくり方＝スイカの果肉を竹べらではぎとり、布袋でしぼります。

その果汁を大なべ（鉄製はいけない）で、朝から夕方までかかり煮つめるのです。

水気がなくなり、底の方に赤い流動体が残るが、この時手まめにかきまぜることが大事です。手を抜くとこげつきます。

水あめ状になったらできあがりですから、ややさめかけた時びんにつめ保存しますが、二年も三年も保存がききます。

一日一回大さじ一杯ずつ、三度ぐらい用いますと、腎臓病で水気のある病人に効あり、といわれています。

一合の西瓜糖をつくるのに、大ぶりの西瓜二―三個もいります。

風呂敷のうすくて
西瓜まんまるし　暮石

（筆者　上萩大治）

▽無断転載は、ご遠慮ください。

更生保護相談所

毎週水曜日

町保護司会では、次のとおり更生保護相談所を開設しています。ご利用ください。

○**開設日**…毎週水曜日
○**時間**…午前九時から十二時
○**相談内容**…学生、生徒等の非行や、家庭でお困りの方、心身障害等社会的ハンディをお持ちの方就職、生活指導について相談に応じます。

竜門の会

いちまいの網戸を盾に暑に籠る　鶴田　耕

鉄塔に触れ夏雲の脚速し　加藤　白柳

雨やんで雲に声研ぐほととぎす　内田美津代

白南風や噴煙雲と競ひたつ　井之上透山

桜桃祖父の童話にギブスの子　古江　重美

縁の下犬の鎖の錆びて梅雨　川崎　黒兎

葬列の出で行く門出凌霄花　高木　正男

曇り日の花殻多きしょうぶ園　竹山　洋子

火山灰の風向たしかむる朝曇り　川上　節子

お知らせ

秋の通信講座 受講生を募集

NHK学園

NHK学園では、秋の「生涯学習講座」の受講生を募集しています。この講座の利点は、だれでも自宅にいながら自分の都合のよい時間に、自分のペースで学べるところにあります。

講座は、書道、硬筆、楽しい母と子の書き方、簿記、俳句、短歌、古典、美しい日本語、文章、絵画、囲碁、英語、数学、国語、ファミリー写真、ビデオカメラの十六講座五十コースで、どなたでも受講できます。

受付締め切りは十月十日です。詳しい案内書をご希望の方は、お近くのNHKまたは、次のところへ講座名と氏名、住所、電話番号を書いてはがきでご請求ください。案内書は無料です。

▽〒一八六
東京都国立市富士見台二―三六
NHK学園CT係

より広く、美しく、安全に

八月は「道路をまもる月間」

最近、道路パトロールをすると庭木や家屋の軒先が道路にはみ出して交通の妨げになっていたり、道路上に無断で自動販売機や商品看板などが置いてあるのが目につきます。これは道路法上、違法または不正な行為です。

すみやかに除却、移転もしくは道路を原状に回復するようご協力をお願いします。

八月は「道路をまもる月間」です。道路を〝より広く〟〝より美しく〟〝より安全に〟使用しましょう。

歩道はだれのもの？

日曜在宅のお医者さん

月日	在宅医	科	電話番号
9月1日	川畑医院	内科	63―1499
8日	牧医院	内科	63―2222
15日	上妻医院	内科	62―2421
16日	松本医院	外科	63―1911
22日	鬼丸小児科	小児科	62―0308
23日	玉利病院	皮膚科	62―2328
29日	平山医院	内科	62―2468

▽診療時間は、原則として午前九時から午後五時までです。
また、当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください。

うぶ声

出生児	保護者	自治会
福薗　貴	秀己	春日団地
奥村　明子	清喜	南塩入
久保奈都紀	博之	豊町
外山　美穂	義昭	豊町
豊村　睦美	辰郎	赤坂
池田麻紀子	勝彦	赤坂
森　翔吾	渉	赤坂
内村　香織	重春	棚目
有馬　亮太	康晴	西塩入下
松下　祐也	智広	赤坂

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

二万円
市来原　内村勝男（母ツルマル八六）

▽七月二十日までのご寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

岩下　直美　勇三　萩原
勢尾　泰祐　和則　須崎
濱屋敷晋二郎　勲　下新道
壱岐　一之　健二郎　西諏訪
原田　夏紀　博文　赤坂
厚地　聖嗣　健二　蒲生田(I)
長丸裕美子　雄二　東吉原団地
大山智佳子　和行　原ノ門
永田　拓郎　久利　蔵王団地
迫田　昂輝　真一　蔵王団地
古江　史歩　澄男　日木山黒川
田之脇正樹　政文　岩原西
田中　圭一　一彦　吉原
国分　孟文　秀一　赤坂
村崎　正哉　克己　垂ノ口

▽七月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

記事訂正とおわび

七月号の〝薬草〟の記事中、誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正します。

▽末尾俳句
「生旁」　→「牛旁（ごぼう）」

北の街で、南の街で あなたの街で

10月1日

国勢調査

十月一日、日本全国でいっせいに「国勢調査」が行われます。

国勢調査は、国の最も基本的な統計調査で大正九年以来五年ごとに行われ、今年で十四回目になります。

加治木町でも、町内に住んでいるすべての人を九月下旬から十月上旬にかけて、百五十七人の調査員がお伺いします。

質問は簡潔で答えやすい内容になっていますので、どうぞよろしく……ご協力ください。